

## 第2次

# 東根市外二市一町共立衛生処理組合 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

令和5(2023)年3月

東根市外二市一町共立衛生処理組合

## 目 次

1. 背景	1
1. 1 気候変動の影響	1
1. 2 地球温暖化対策を巡る国際的な動向	1
1. 3 地球温暖化対策を巡る国内の動向	1
2. 基本的事項	3
2. 1 目的	3
2. 2 対象とする範囲	3
2. 3 対象とする温室効果ガス	3
2. 4 計画期間	4
2. 5 関連計画との位置づけ	4
3. 温室効果ガスの排出状況	4
4. 温室効果ガスの排出削減目標	5
4. 1 目標設定の考え方	5
4. 2 削減目標	6
5. 目標達成に向けた取組	7
5. 1 取組の基本方針	7
5. 2 具体的な取組内容	7
6. 進捗管理体制と進捗状況の公表	9
6. 1 進捗体制	9
6. 2 計画の点検・評価・見直し等	10
6. 3 進捗状況の公表	10
参考資料	
・計画対象施設	11
・計画対象温室効果ガス	13
・温室効果ガス排出量実績値及び目標値	15

# 1. 背景

## 1. 1 気候変動の影響

地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる安全保障の問題と認識されており、最も重要な環境問題の一つとされています。既に世界的にも平均気温の上昇、雪氷の融解、海面水位の上昇が観測されています。

2021年8月には、IPCC第6次評価報告書第1作業部会報告書政策決定者向け要約が公表され、同報告書では、人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がないこと、大気、海洋、雪氷圏及び生物圏において、広範囲かつ急速な変化が現れていること、気候システムの多くの変化（極端な高温や大雨の頻度と強度の増加、いくつかの地域における強い熱帯低気圧の割合の増加等）は、地球温暖化の進行に直接関係して拡大することが示されました。

個々の気象現象と地球温暖化との関係を明確にすることは容易ではありませんが、今後、地球温暖化の進行に伴い、このような猛暑や豪雨のリスクは更に高まることが予測されています。

## 1. 2 地球温暖化対策を巡る国際的な動向

2015年（平成27年）11月から12月にかけて、フランス・パリにおいて、COP21が開催され、京都議定書以来18年ぶりの新たな法的拘束力のある国際的な合意文書となるパリ協定が採択されました。

合意に至ったパリ協定は、国際条約として初めて「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」や「今世紀後半の温室効果ガスの人為的な排出と吸収の均衡」を掲げたほか、附属書I国（いわゆる先進国）と非附属書I国（いわゆる途上国）という附属書に基づく固定された二分論を超えた全ての国の参加、5年ごとに貢献（nationally determined contribution）を提出・更新する仕組み、適応計画プロセスや行動の実施等を規定しており、国際枠組みとして画期的なものと言えます。

2018年に公表されたIPCC「1.5℃特別報告書」によると、世界全体の平均気温の上昇を、2℃を十分下回り、1.5℃の水準に抑えるためには、CO<sub>2</sub>排出量を2050年頃に正味ゼロとすることが必要とされています。この報告書を受け、世界各国で、2050年までのカーボンニュートラルを目標として掲げる動きが広がりました。

## 1. 3 地球温暖化対策を巡る国内の動向

2020年10月、我が国は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。翌2021年4月、地球温暖化対策推進本部において、2030年度の温室効果ガスの削減目標を2013年度比46%削減することとし、さらに、50パーセントの高みに向けて、挑戦を続けていく旨が公表されました。

また、令和3（2021）年6月に公布された地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「温対法」という。）の一部を改正する法律（令和3年法律第54号）では、2050年までの脱炭素社会の実現を基本理念として法律に位置づけ、区域施策編に関する施策目標の追加や、地域脱炭素化促進事業に関する規定が新たに追加されました。政策の方向性や継続性を明確に示すことで、国民、地方公共団体、事業者等に対し予見可能性を与え、取組やイノベーションを促すことを狙い、さらに、市町村においても区域施策編を策定するよう努めるものとされています。

さらに、令和3（2021）年6月、国・地方脱炭素実現会議において「地域脱炭素ロードマップ」が決定されました。脱炭素化の基盤となる重点施策（屋根置きなど自家消費型の太陽光発電、公共施設など業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時のZEB化誘導、ゼロカーボン・ドライブ等）を全国津々浦々で実施する、といったこと等が位置づけられています。

2021年10月には、地球温暖化対策計画の閣議決定がなされ、5年ぶりの改定が行われました。改定された地球温暖化対策計画では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて気候変動対策を着実に推進していくこと、中期目標として、2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていくという新たな削減目標も示され、2030年度目標の裏付けとなる対策・施策を記載した目標実現への道筋を描いています。

表1 地球温暖化対策計画における2030年度温室効果ガス排出削減量の目標

温室効果ガス排出量・吸収量 (単位：億t-CO <sub>2</sub> )		2013排出実績	2030排出量	削減率	従来目標
		14.08	7.60	▲46%	▲26%
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		12.35	6.77	▲45%	▲25%
部門別	産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%
	業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%
	家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%
	運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%
	エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%
非エネルギー起源CO <sub>2</sub> 、メタン、N <sub>2</sub> O		1.34	1.15	▲14%	▲8%
HFC等4ガス（フロン類）		0.39	0.22	▲44%	▲25%
吸収源		-	▲0.48	-	(▲0.37億t-CO <sub>2</sub> )
二国間クレジット制度（JCM）		官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO <sub>2</sub> 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。			-

出典：環境省（2021）「地球温暖化対策計画」

<<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/keikaku/211022.html>>

また、2021年10月に、政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画（政府実行計画）の改定も行われました。温室効果ガス排出削減目標を2030年度までに50%削減（2013年度比）に見直し、その目標達成

に向け、太陽光発電の導入、新築建築物の ZEB 化、電動車の導入、LED 照明の導入、再生可能エネルギー電力調達等について、政府自らが率先して実行する方針が示されました。また、地球温暖化対策計画において、事務事業編に関する取組は、政府実行計画に準じて取り組むこととされています。

## 2. 基本的事項

### 2. 1 目的

東根市外二市一町共立衛生処理組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「計画」という。）は、温対法第 21 条第 1 項に基づき、地球温暖化対策計画に即して、東根市外二市一町共立衛生処理組合（以下「組合」という。）が実施している事務及び事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的として策定するものです。

### 2. 2 対象とする範囲

計画の対象範囲は、組合におけるごみ及びし尿等の収集・処理に係る全ての事務・事業とします。対象施設は、「管理事務所」「し尿処理施設」「ごみ焼却処理施設」「粗大ごみ処理施設」「リサイクルセンター」「下釜最終処分場」「原の内最終処分場」です。委託等により実施する事業については、受託者に対して、温室効果ガスの排出量の削減のための必要な措置を講じるよう要請し、取組を推進していきます。

### 2. 3 対象とする温室効果ガス

計画の対象とする温室効果ガスは、温対法第 2 条第 3 項で規定する 7 種類の物質のうち、排出状況が把握可能な二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、メタン（CH<sub>4</sub>）、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）の 4 物質とします。

なお、パーフルオロカーボン（PFC）、六ふっ化硫黄（SF<sub>6</sub>）、三ふっ化窒素（NF<sub>3</sub>）の 3 物質については、組合において排出する活動が無いことから対象としません。

## 2. 4 計画期間

2018（平成 30）年度から 2030（令和 12）年度末までを計画期間とします。また、5 年ごとに計画の見直しを行います。2023（令和 5）年度～2027（令和 9）年度末までの期間を第 2 次計画期間とします。（以下、2016（平成 28）年度を基準年度、2027（令和 9）年度を 2 次計画年度、2030（令和 12）年度を目標年度という。）

項目	年 度								
	2016	...	2018	...	2023	...	2028	...	2030
期間中の事項	基準年度		計画開始		計画見直し		計画見直し		目標年度
計画期間			1 次計画		2 次計画		3 次計画		

図 1 計画期間のイメージ

## 2. 5 関連計画との位置づけ

本計画は、温対法第 21 条第 1 項に基づく地方公共団体実行計画です。また、国が策定する地球温暖化対策計画、及び、組合が策定するごみ処理基本計画及、生活排水処理基本計画、エネルギー中長期計画に即して策定します。

## 3. 温室効果ガスの排出状況

組合の事務・事業に伴う「温室効果ガス総排出量」は、基準年度において、23,595t-CO<sub>2</sub>となっています。なかでも、一般廃棄物の焼却による排出量が最も多く、全体の 84.2%を占めています。

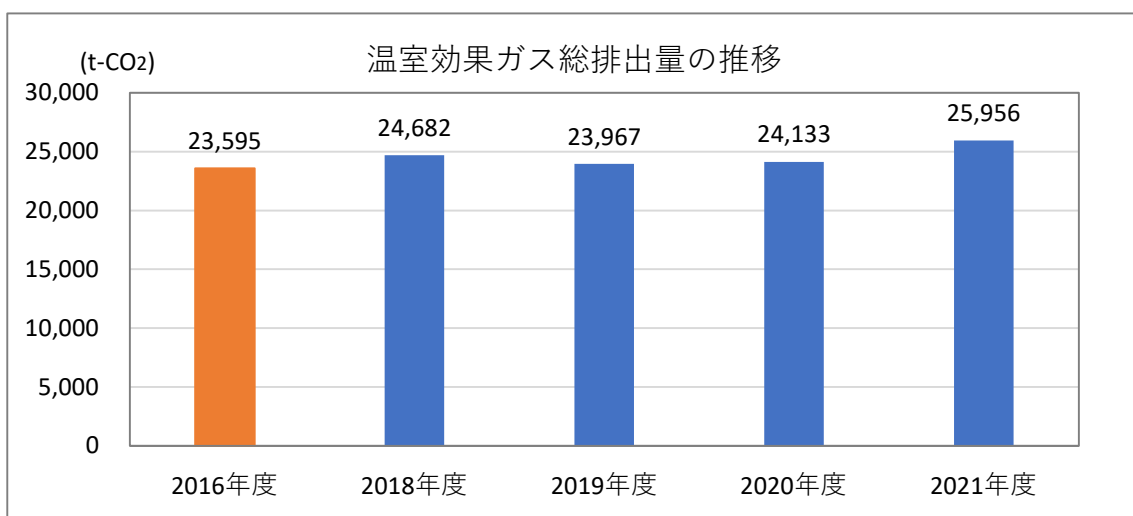


図 2 組合の事務・事業に伴う「温室効果ガス総排出量」の推移

部門別では、ごみ焼却処理部門が組合の総排出量の95.1%を占めています。

表 2 部門別温室効果ガス排出量と割合 (2016 年度)

部 門	排出量 t-CO <sub>2</sub>	割合
ごみ焼却処理	22,447	95.1%
し尿処理	453	1.9%
粗大ごみ処理	213	0.9%
ごみ収集	197	0.9%
リサイクルセンター	162	0.7%
総務	69	0.3%
し尿収集	54	0.2%
合計	23,595	100.0%

エネルギー別では、エネルギー起源の排出量において電気の使用が88.4%を占め、次いで軽油が7.4%、A重油が3.4%を占めています。

表 3 エネルギー別温室効果ガス排出量と割合 (2016 年度)

項 目	排出量 t-CO <sub>2</sub>	割合
電気の使用	3,298	88.4%
軽油	277	7.4%
A重油	126	3.4%
灯油	24	0.6%
ガソリン	6	0.2%
LPガス	2	0.1%
合計	3,733	100.0%

## 4. 温室効果ガスの排出削減目標

### 4. 1 目標設定の考え方

政府実行計画等を踏まえて、組合の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出削減目標を設定します。

## 4. 2 削減目標

### (1) エネルギー起源の温室効果ガス排出削減目標

エネルギー起源（燃料・電気使用量）の温室効果ガス排出量については、目標年度（2030年度）に、基準年度比で32%削減することを目標とします。また、第2次計画の終期年度である2次計画年度（2027年度）に、基準年度比で26.5%削減することを中間目標とします。

表 4 エネルギー起源の温室効果ガスの削減目標

項目	基準年度 2016年度	2次計画年度 2027年度	目標年度 2030年度
温室効果ガスの排出量	3,732.60 t-CO <sub>2</sub>	2,740.22 t-CO <sub>2</sub>	2,538.00 t-CO <sub>2</sub>
削減率	—	26.5%	32.0%

### (2) 非エネルギー起源の温室効果ガス排出削減目標

一般廃棄物の焼却及びし尿の処理に係る温室効果ガス排出量については、過去5年（2017年度～2021年度）の処理量実績から統計式により算出し予測した、基準年度から目標年度までのごみ、し尿それぞれの処理量の減量分を削減目標とします。（ただし、目標年度の廃プラスチックの焼却量に係る、ごみの組成については、基準年度の数値で算定します。）また、家庭用機器における燃料の使用、自動車の走行、カーエアコンの使用に係る温室効果ガス排出量削減目標については、効率的な運転管理を実施するものとし、令和3年度の排出量を目標年度の数値目標とします。

表 5 非エネルギー起源の温室効果ガスの削減目標

項目	基準年度 2016年度	2次計画年度 2027年度	目標年度 2030年度
一般廃棄物の焼却			
温室効果ガスの排出量	19,855.44 t-CO <sub>2</sub>	19,602.27 t-CO <sub>2</sub>	19,390.64 t-CO <sub>2</sub>
削減率	—	1.27%	2.34%
し尿の処理			
温室効果ガスの排出量	2.24 t-CO <sub>2</sub>	1.24 t-CO <sub>2</sub>	1.05 t-CO <sub>2</sub>
削減率		44.64%	53.12%
その他			
温室効果ガスの排出量	4.31 t-CO <sub>2</sub>	4.03 t-CO <sub>2</sub>	4.03 t-CO <sub>2</sub>
削減率		効率的な運転管理を実施	効率的な運転管理を実施
合計			
温室効果ガスの排出量	19,861.99 t-CO <sub>2</sub>	19,607.54 t-CO <sub>2</sub>	19,396.00 t-CO <sub>2</sub>
削減率		1.28%	2.34%



## 5. 目標達成に向けた取組

### 5. 1 取組の基本方針

日々の業務における電気・燃料等の効率的な使用と節約を心掛け、使用量の削減に努めるとともに、施設設備や車両の更新の際には、高効率、省エネ、低燃費に寄与するものの導入に努めます。

### 5. 2 具体的な取組内容

#### (1) 施設設備等の運用改善

##### ①施設運転管理

- ・効率的な施設（機器）運転に努めます。
- ・機器の効率低下を抑えるため、日常、月例、年次による保守点検を行います。
- ・エネルギー使用量について、日報及び月報等の帳票による管理を行います。

##### ②施設維持管理

- ・機器の効率低下を防止するため、適正な管理（修繕等）に努めます。
- ・配管等の漏れの改善や保温状態等を確認し効率低下防止に努めます。

##### ③空調設備の運用改善

- ・機器の適正な温度設定に努めます。
- ・機器の点検補修、フィルター等の定期的な清掃に努めます。
- ・機器の不必要な使用を控えます。
- ・機器の使用時は出入口等を開放しないよう努めます。

##### ④照明設備の運用改善

- ・不要な照明の消灯に努めます。
- ・昼休み時間の消灯に努めます。

##### ⑤給湯設備の運用改善

- ・機器の適正な温度設定に努めます。
- ・機器の不必要な使用を控えます。

##### ⑥その他の機器類の運用改善

- ・エレベーターの利用は控え、階段を利用します。
- ・パソコン、コピー機等のOA機器の設定を省エネモードに設定するとともに、OA機器等を使用しないときは主電源をオフにするよう努めます。
- ・電気ポット、冷蔵庫、洗濯機等の家電製品の台数や規模の適正化に努めます。

#### (2) 施設設備等の更新

- ・高効率電動機や回転数制御装置等の積極的導入に努めます。
- ・LED照明等の積極的導入に努めます。
- ・パソコンや家電等の機器類の更新の際は、省エネルギー型の製品導入に努めます。

- ・施設の新築、増改築の際は、環境に配慮した工事を実施するとともに、環境負荷の低減に配慮した施設等を整備し、適切な管理に努めます。

(3) 車両の運用改善

- ・車両の適正な整備に努めます。
- ・タイヤ空気圧の点検を適宜行い燃費の向上に努めます。
- ・急発進、急加速はしないなどエコドライブに努めます。
- ・アイドリングストップに努めます。
- ・効率的な収集計画及び運搬経路の検討を行います。
- ・カーエアコンの適正な温度設定に努めます。
- ・出張時には、公共交通機関を活用します。
- ・車両の更新の際は、低燃費車及び低公害車を導入します。

(4) 一般廃棄物焼却量の削減

一般廃棄物搬入量の減量及びプラスチック類の分別推進を図るため、組合市町（東根市・村山市・天童市・河北町）と協力し、ごみの分別及びリサイクル等についての広報活動を行い、ごみの減量化について、排出者への啓発・情報提供に努めます。

(5) し尿処理施設の運転管理の効率化

年々減少傾向にあるし尿等収集量を考慮し、効率的な施設運転に努めます。

(6) その他の取組

- ・グリーン購入法に基づき環境配慮型商品の優先購入に努めます。
- ・廃棄書類のリサイクルに努めます。
- ・両面印刷（コピー）に努めます。
- ・電子媒体やWEB等の活用により紙使用の削減に努めます。
- ・節水に努めます。
- ・組合敷地及び施設周辺の緑地帯の維持管理や緑化に努めます。

## 6. 進捗管理体制と進捗状況の公表

### 6. 1 推進体制

計画を確実に実施・運用するため推進体制の整備を図るとともに、計画の進捗状況を把握するための点検・評価体制を下記のとおり整備します。

計画の推進は、地球温暖化対策推進委員会（以下「推進委員会」という。）が中心となって進めます。活動は部門ごとに全職員が、温室効果ガス排出量削減の取組を積極的に推進するとともに、取組状況の点検・評価を行います。また、リサイクルセンターを運営するSPC（特別目的会社）には、組合と同様の措置を講ずるよう要請するものとします。なお、推進体制の役割は以下に示すとおりです。

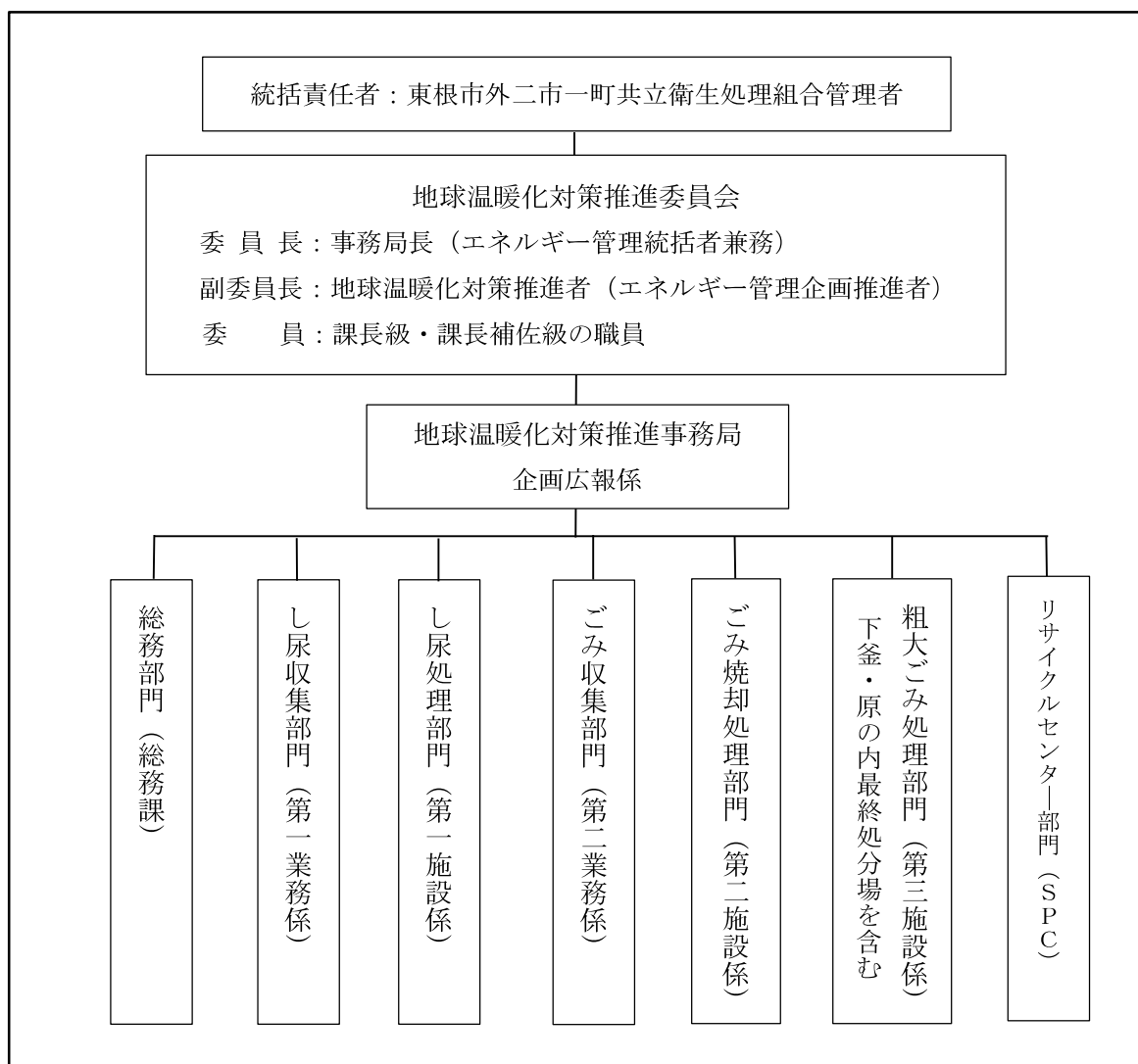


図 3 推進体制

①統括責任者（管理者）

計画・年度目標の承認及び推進委員会への見直し等の指示を行います。

②地球温暖化対策推進委員会

計画の推進機関として、計画策定、見直し、公表等を行います。また、計画を確実に推進するための点検・評価機関として、以下の役割を果たします。

- ・計画の推進に関する統括
- ・温室効果ガス排出量の削減目標達成に向けた取組に関する要請及び情報等の提供
- ・計画の見直し等に関する検討（取組方法、目標値の見直し等）
- ・職員の啓発等の実施

③地球温暖化対策推進事務局

推進委員会の事務局として、推進委員会の開催や定期的な計画の点検・評価の実施、結果の取りまとめ、スケジュールの管理、情報収集を行います。

④各部門（全職員）

推進委員会が策定する計画を十分把握し、計画に示す温室効果ガス排出量の削減目標達成に向けた取組を実施します。また、各部門で掲げる目標達成のため、全職員が効果的な対策の検討・立案・業務改善に取組み計画を推進します。また、推進委員会の要請に基づき、部門内の取組状況について、点検・評価・見直しを行います。

## 6. 2 計画の点検・評価・見直し等

温室効果ガス排出量の削減目標等の達成状況については、前年度実績との比較等により、総合的に点検・評価を行います。なお、計画の取組状況の点検・目標の見直しは、PDCA管理の手法を用います。

①各部門は、取組状況を定期的に点検し、推進事務局へ報告します。

②推進事務局は、各部門から報告された点検結果の内容について分析・評価し、結果等について、推進委員会に報告します。

③推進委員会は、推進事務局から報告された各部門の分析・評価の結果をもとに、各部門での取組方法等について改善が必要と判断した場合、各部門に対して目標達成に向けた具体的な取組の見直し及び新たな取組の追加等を要請するとともに、全体的な計画の見直しを行い、次年度以降の取組方針や推進体制等に反映します。

④有効的な取組事例については、全体で共有を図るため積極的な情報提供に努めます。

## 6. 3 進捗状況の公表

計画の進捗状況及び点検・評価結果については、ホームページ等により公表し、地球温暖化防止に関する活動等の周知を図ります。

# 参 考 资 料

## 計画対象施設

計画本文中の「2. 2 対象とする範囲」で示す対象施設の詳細は以下のとおりです。

### ■組合管理事務所

着 工	平成 6 年 5 月
竣 工	平成 6 年 11 月
延床面積	571.125 m <sup>2</sup>
建築構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
所 在 地	東根市大字野田字シタ 2038 番地

### ■し尿処理施設

改造着工（着工）	平成 23 年 5 月（昭和 63 年 7 月）
改造竣工（竣工）	平成 24 年 3 月（平成 2 年 11 月）
処理能力	68kL/日（改造後） 内訳：し尿 23kL/日 + 浄化槽汚泥 45kL/日
処理方式	前処理・脱水・希釈・下水道投入方式（改造後）
延床面積	5,944 m <sup>2</sup>
建築構造	鉄筋コンクリート及び鉄骨造（地下 1 階、地上 2 階）
所 在 地	東根市大字野田字シタ 2038 番地の 4

### ■ごみ焼却処理施設

着 工	平成 4 年 7 月
竣 工	平成 7 年 2 月
処理能力	195t/24h 内訳：65t/24h×3 炉
処理方式	全連続燃焼式焼却炉（ストーカ方式）
延床面積	6,853 m <sup>2</sup>
建築構造	鉄筋コンクリート及び鉄骨造（地下 1 階、地上 4 階）
所 在 地	東根市大字野田字シタ 2038 番地

### ■粗大ごみ処理施設

着 工	平成 4 年 7 月
竣 工	平成 7 年 2 月
処理能力	20t/5h
処理方式	衝撃せん断併用回転式破砕機
延床面積	1,581 m <sup>2</sup>
建築構造	鉄筋コンクリート及び鉄骨造（地下 1 階、地上 2 階）
所 在 地	河北町谷地字下釜二 2717 番地の 12

■リサイクルセンター

着 工	平成 20 年 5 月
竣 工	平成 22 年 3 月
処理能力	28t/5h 内訳：ビン・缶 14t、ペットボトル 3t、プラスチック製容器包装類 10t、 廃蛍光管・廃乾電池 1t
処理方式	破袋・機械選別・手選別・圧縮・梱包
延床面積	4,480.43 m <sup>2</sup>
建築構造	鉄骨造（地上 3 階）
所 在 地	河北町谷地字下釜二 2503 番地

■下釜最終処分場

着 工	平成 10 年 8 月
竣 工	平成 12 年 3 月
埋立面積	44,300 m <sup>2</sup>
埋立容量	195,200 m <sup>3</sup>
処理方式	・埋立地：セル方式（管理型） ・浸出水処理施設：物理化学処理方式 50 m <sup>3</sup> /日 （カルシウム除去+PH 調整+砂ろ過）→し尿処理施設へ
所 在 地	河北町谷地字下釜二 2693 番地

■原の内最終処分場

着 工	昭和 59 年 8 月
竣 工	昭和 60 年 3 月
埋立面積	7,000 m <sup>2</sup>
埋立容量	43,500 m <sup>3</sup>
処理方式	・埋立地：サンドイッチ方式（管理型） ・浸出水処理施設：接触ばっ気方式
所 在 地	河北町大字岩木字原の内 1377 番地の 7

## 計画対象温室効果ガス

計画本文中の「2. 3 対象とする温室効果ガス」で示す温室効果ガスの詳細は以下のとおりです。

組合で排出する温室効果ガス

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス総排出量の算定範囲
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	燃料の使用	ガソリン・灯油・軽油・LPG・A重油の化石燃料の使用量
	他人から供給された電気の使用	電気の使用量 (東北電力から受電)
	一般廃棄物の焼却	一般廃棄物の燃焼量 (うち廃プラスチックの焼却量)
メタン (CH <sub>4</sub> )	家庭用機器における燃料の使用	灯油・LPGの使用量
	自動車の走行	公用車、し尿・ごみ収集車等の走行距離
	一般廃棄物の焼却	一般廃棄物の燃焼量(全量)
	し尿の処理	し尿の処理量(下水道投入方式)
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	家庭用機器における燃料の使用	灯油・LPGの使用量
	自動車の走行	公用車、し尿・ごみ収集車等の走行距離
	一般廃棄物の焼却	一般廃棄物の燃焼量(全量)
	し尿の処理	し尿の処理量(下水道投入方式)
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	自動車用エアコンの使用	HFC-134aが封入されたエアコン(車両)の使用台数



温室効果ガスの地球温暖化係数と排出係数

	地球温暖化係数	排出係数	備考
<b>二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)</b>	<b>1</b>		
ガソリン		2.32 kg-CO <sub>2</sub> /L	
灯油		2.49 kg-CO <sub>2</sub> /L	
軽油		2.58 kg-CO <sub>2</sub> /L	
A重油		2.71 kg-CO <sub>2</sub> /L	
LPG		3.00 kg-CO <sub>2</sub> /kg	
電気の使用		※ 0.556 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	2016年度数値
一般廃棄物の焼却		2,770 kg-CO <sub>2</sub> /t	廃プラスチック焼却
<b>メタン (CH<sub>4</sub>)</b>	<b>25</b>		
家庭用機器における燃料使用(灯油)		0.00035 kg-CH <sub>4</sub> /L	
家庭用機器における燃料使用(LPG)		0.00023 kg-CH <sub>4</sub> /kg	
自動車の走行		0.0000025 kg-CH <sub>4</sub> /km	HVガソリン/乗用車
自動車の走行		0.000010 kg-CH <sub>4</sub> /km	ガソリン/乗用車
自動車の走行		0.000011 kg-CH <sub>4</sub> /km	ガソリン/軽貨物車
自動車の走行		0.000015 kg-CH <sub>4</sub> /km	軽油/普通貨物車
自動車の走行		0.000013 kg-CH <sub>4</sub> /km	軽油/特殊用途車
一般廃棄物の焼却		0.00095 kg-CH <sub>4</sub> /t	全量
し尿の処理		0.0055 kg-CH <sub>4</sub> /kL	
<b>一酸化二窒素 (N<sub>2</sub>O)</b>	<b>298</b>		
家庭用機器における燃料使用(灯油)		0.000021 kg-N <sub>2</sub> O/L	
家庭用機器における燃料使用(LPG)		0.0000046 kg-N <sub>2</sub> O/kg	
自動車の走行		0.0000006 kg-N <sub>2</sub> O/km	HVガソリン/乗用車
自動車の走行		0.000029 kg-N <sub>2</sub> O/km	ガソリン/乗用車
自動車の走行		0.000022 kg-N <sub>2</sub> O/km	ガソリン/軽貨物車
自動車の走行		0.000014 kg-N <sub>2</sub> O/km	軽油/普通貨物車
自動車の走行		0.000025 kg-N <sub>2</sub> O/km	軽油/特殊用途車
一般廃棄物の焼却		0.0567 kg-N <sub>2</sub> O/t	全量
し尿の処理		0.0045 kg-N <sub>2</sub> O/tN	
<b>ハイドロフルオロカーボン(HFC)</b>	<b>1,430</b>		
自動車用エアコンディショナーの使用		0.01 kg-HFC/台・年	

※電気の使用に係る排出係数は、毎年、環境省（電気事業者）から発表される数値を使用する。

温室効果ガス排出量実績値及び目標値

組合全体

		温室効果ガス排出量				(参考) 活動量			
		実績値		目標値		実績値			
		基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度	2 次計画年度 2027 (R9) 年度	目標年度 2030 (R12) 年度	基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度		
エネルギー 起源	ガソリン		6.02 t-CO2	4.38 t-CO2	3.81 t-CO2	3.52 t-CO2	2,595.60 L	1,887.94 L	
	灯油		23.60 t-CO2	9.13 t-CO2	7.95 t-CO2	7.37 t-CO2	9,477 L	3,667 L	
	軽油		276.63 t-CO2	321.08 t-CO2	279.76 t-CO2	259.11 t-CO2	107,220.1 L	124,451.0 L	
	A重油		126.55 t-CO2	125.53 t-CO2	109.37 t-CO2	101.30 t-CO2	46,697 L	46,322 L	
	L P G		1.64 t-CO2	0.68 t-CO2	0.60 t-CO2	0.55 t-CO2	546.21 kg	228.88 kg	
	電気の使用		3,298.16 t-CO2	2,684.20 t-CO2	2,338.73 t-CO2	2,166.15 t-CO2	5,931,951 kWh	5,639,083 kWh	
	エネルギー起源 計		3,732.60 t-CO2	3,145.00 t-CO2	2,740.22 t-CO2	2,538.00 t-CO2	—	—	
非エネルギー 起源	家庭用機器にお ける燃料の使用	灯油	0.14 t-CO2	0.06 t-CO2	0.06 t-CO2	0.06 t-CO2	9,477 L	3,667 L	
		L P G	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	546.21 kg	228.88 kg	
	自動車の走行	ガソリン	HV乗用車	0.01 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	25,340 km	14,806 km
			普通乗用車	0.05 t-CO2	0.05 t-CO2	0.05 t-CO2	0.05 t-CO2	5,878 km	6,157 km
			軽貨物車	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	1,737 km	1,641 km
		軽油	普通貨物車	0.02 t-CO2	0.03 t-CO2	0.03 t-CO2	0.03 t-CO2	4,502 km	4,968 km
	特種用途車		3.41 t-CO2	3.26 t-CO2	3.26 t-CO2	3.26 t-CO2	438,016 km	418,557 km	
	一般廃棄物の焼却		19,855.44 t-CO2	22,805.47 t-CO2	19,602.27 t-CO2	19,390.64 t-CO2	40,247.13 t	40,783.10 t	
	うち廃プラスチック焼却		19,174.44 t-CO2	22,115.40 t-CO2	18,929.96 t-CO2	18,725.59 t-CO2	6,922.18 t	7,983.90 t	
	し尿の処理		2.24 t-CO2	1.74 t-CO2	1.24 t-CO2	1.05 t-CO2	16,125.26 kL	12,607.49 kL	
	自動車用エアコンの使用		0.67 t-CO2	0.62 t-CO2	0.62 t-CO2	0.62 t-CO2	47 台	44 台	
非エネルギー起源 計		19,861.99 t-CO2	22,811.24 t-CO2	19,607.54 t-CO2	19,395.72 t-CO2	—	—		
合計		23,594.59 t-CO2	25,956.24 t-CO2	22,347.76 t-CO2	21,933.72 t-CO2	—	—		

温室効果ガス排出量実績値及び目標値

総務部門

		温室効果ガス排出量				(参考) 活動量			
		実績値		目標値		実績値			
		基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度	2 次計画年度 2027 (R9) 年度	目標年度 2030 (R12) 年度	基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度		
エネルギー 起源	ガソリン		3.76 t-CO2	2.47 t-CO2	2.15 t-CO2	1.99 t-CO2	1,620.40 L	1,066.18 L	
	灯油		16.90 t-CO2	6.25 t-CO2	5.45 t-CO2	5.04 t-CO2	6,788 L	2,510 L	
	軽油		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
	A重油		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
	L P G		0.18 t-CO2	0.07 t-CO2	0.06 t-CO2	0.06 t-CO2	60.56 kg	24.50 kg	
	電気の使用		47.85 t-CO2	40.42 t-CO2	35.22 t-CO2	32.62 t-CO2	86,060 kWh	84,916 kWh	
	エネルギー起源 計		68.69 t-CO2	49.21 t-CO2	42.88 t-CO2	39.71 t-CO2	—	—	
非エネルギー 起源	家庭用機器にお ける燃料の使用	灯油	0.10 t-CO2	0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	6,788 L	2,510 L	
		L P G	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	60.56 kg	24.50 kg	
	自動車の走行	ガソリン	HV乗用車	0.01 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	25,340 km	14,806 km
			普通乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			軽貨物車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
		軽油	普通貨物車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
	特種用途車		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km	
	一般廃棄物の焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	うち廃プラスチック焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	し尿の処理		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kL	kL	
	自動車用エアコンの使用		0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	3 台	3 台	
非エネルギー起源 計		0.15 t-CO2	0.08 t-CO2	0.08 t-CO2	0.08 t-CO2	—	—		
合計		68.84 t-CO2	49.29 t-CO2	42.96 t-CO2	39.79 t-CO2	—	—		

温室効果ガス排出量実績値及び目標値

し尿収集部門

		温室効果ガス排出量				(参考) 活動量			
		実績値		目標値		実績値			
		基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度	2 次計画年度 2027 (R9) 年度	目標年度 2030 (R12) 年度	基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度		
エネルギー 起源	ガソリン		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
	灯油		1.52 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	608 L	0 L	
	軽油		50.53 t-CO2	73.01 t-CO2	63.61 t-CO2	58.92 t-CO2	19,585.0 L	28,299.0 L	
	A重油		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
	L P G		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kg	kg	
	電気の使用		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kWh	kWh	
	エネルギー起源 計		52.05 t-CO2	73.01 t-CO2	63.61 t-CO2	58.92 t-CO2	—	—	
非エネルギー 起源	家庭用機器にお ける燃料の使用	灯油	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	608 L	0 L	
		L P G	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kg	kg	
	自動車の走行	ガソリン	HV乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			普通乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			軽貨物車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
		軽油	普通貨物車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
	特種用途車		1.34 t-CO2	1.10 t-CO2	1.10 t-CO2	1.10 t-CO2	172,134 km	141,122 km	
	一般廃棄物の焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	うち廃プラスチック焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	し尿の処理		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kL	kL	
	自動車用エアコンの使用		0.21 t-CO2	0.17 t-CO2	0.17 t-CO2	0.17 t-CO2	15 台	12 台	
非エネルギー起源 計		1.55 t-CO2	1.27 t-CO2	1.27 t-CO2	1.27 t-CO2	—	—		
合計		53.60 t-CO2	74.28 t-CO2	64.88 t-CO2	60.19 t-CO2	—	—		

温室効果ガス排出量実績値及び目標値

し尿処理部門

		温室効果ガス排出量				(参考) 活動量			
		実績値		目標値		実績値			
		基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度	2 次計画年度 2027 (R9) 年度	目標年度 2030 (R12) 年度	基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度		
エネルギー 起源	ガソリン		0.00 t-CO2	0.04 t-CO2	0.03 t-CO2	0.03 t-CO2	0.00 L	18.00 L	
	灯油		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
	軽油		1.52 t-CO2	1.59 t-CO2	1.39 t-CO2	1.28 t-CO2	591.0 L	618.0 L	
	A重油		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
	LPG		1.25 t-CO2	0.34 t-CO2	0.30 t-CO2	0.27 t-CO2	416.33 kg	112.95 kg	
	電気の使用		448.42 t-CO2	277.12 t-CO2	241.45 t-CO2	223.64 t-CO2	806,520 kWh	582,180 kWh	
	エネルギー起源 計		451.19 t-CO2	279.09 t-CO2	243.17 t-CO2	225.22 t-CO2	—	—	
非エネルギー 起源	家庭用機器にお ける燃料の使用	灯油	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
		LPG	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	416.33 kg	112.95 kg	
	自動車の走行	ガソリン	HV乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			普通乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			軽貨物車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
		軽油	普通貨物車	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	787 km	875 km
	特種用途車		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km	
	一般廃棄物の焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	うち廃プラスチック焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	し尿の処理		2.24 t-CO2	1.74 t-CO2	1.24 t-CO2	1.05 t-CO2	16,125.26 kL	12,607.49 kL	
	自動車用エアコンの使用		0.03 t-CO2	0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	2 台	3 台	
非エネルギー起源 計		2.27 t-CO2	1.78 t-CO2	1.28 t-CO2	1.09 t-CO2	—	—		
合計		453.46 t-CO2	280.87 t-CO2	244.45 t-CO2	226.31 t-CO2	—	—		

温室効果ガス排出量実績値及び目標値

ごみ収集部門

		温室効果ガス排出量				(参考) 活動量			
		実績値		目標値		実績値			
		基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度	2 次計画年度 2027 (R9) 年度	目標年度 2030 (R12) 年度	基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度		
エネルギー 起源	ガソリン		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
	灯油		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
	軽油		195.09 t-CO2	215.06 t-CO2	187.38 t-CO2	173.55 t-CO2	75,615.0 L	83,357.0 L	
	A重油		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
	L P G		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kg	kg	
	電気の使用		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kWh	kWh	
	エネルギー起源 計		195.09 t-CO2	215.06 t-CO2	187.38 t-CO2	173.55 t-CO2	—	—	
非エネルギー 起源	家庭用機器にお ける燃料の使用	灯油	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
		L P G	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kg	kg	
	自動車の走行	ガソリン	HV乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			普通乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			軽貨物車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
		軽油	普通貨物車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
	特種用途車		2.07 t-CO2	2.16 t-CO2	2.16 t-CO2	2.16 t-CO2	265,719 km	277,315 km	
	一般廃棄物の焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	うち廃プラスチック焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	し尿の処理		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kL	kL	
	自動車用エアコンの使用		0.19 t-CO2	0.19 t-CO2	0.19 t-CO2	0.19 t-CO2	13 台	13 台	
非エネルギー起源 計		2.26 t-CO2	2.35 t-CO2	2.35 t-CO2	2.35 t-CO2	—	—		
合計		197.35 t-CO2	217.41 t-CO2	189.73 t-CO2	175.90 t-CO2	—	—		

温室効果ガス排出量実績値及び目標値

ごみ焼却処理部門

		温室効果ガス排出量				(参考) 活動量			
		実績値		目標値		実績値			
		基準年度 2016 (H28) 年度	令和3年度 2021 (R3) 年度	2次計画年度 2027 (R9) 年度	目標年度 2030 (R12) 年度	基準年度 2016 (H28) 年度	令和3年度 2021 (R3) 年度		
エネルギー 起源	ガソリン		0.00 t-CO2	0.07 t-CO2	0.06 t-CO2	0.05 t-CO2	0.00 L	29.00 L	
	灯油		3.18 t-CO2	2.14 t-CO2	1.86 t-CO2	1.73 t-CO2	1,276 L	861 L	
	軽油		2.36 t-CO2	2.53 t-CO2	2.20 t-CO2	2.04 t-CO2	914.7 L	979.0 L	
	A重油		98.66 t-CO2	106.59 t-CO2	92.87 t-CO2	86.02 t-CO2	36,404 L	39,333 L	
	LPG		0.19 t-CO2	0.26 t-CO2	0.23 t-CO2	0.21 t-CO2	61.95 kg	86.65 kg	
	電気の使用		2,486.62 t-CO2	2,099.98 t-CO2	1,829.71 t-CO2	1,694.68 t-CO2	4,472,330 kWh	4,411,732 kWh	
	エネルギー起源 計		2,591.01 t-CO2	2,211.57 t-CO2	1,926.93 t-CO2	1,784.73 t-CO2	—	—	
非エネルギー 起源	家庭用機器にお ける燃料の使用	灯油	0.02 t-CO2	0.02 t-CO2	0.02 t-CO2	0.02 t-CO2	1,276 L	861 L	
		LPG	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	61.95 kg	86.65 kg	
	自動車の走行	ガソリン	HV乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			普通乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			軽貨物車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
		軽油	普通貨物車	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	1,100 km	1,227 km
	特種用途車		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km	
	一般廃棄物の焼却		19,855.44 t-CO2	22,805.47 t-CO2	19,602.27 t-CO2	19,390.64 t-CO2	40,247.13 t	40,783.10 t	
	うち廃プラスチック焼却		19,174.44 t-CO2	22,115.40 t-CO2	18,929.96 t-CO2	18,725.59 t-CO2	6,922.18 t	7,983.90 t	
	し尿の処理		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kL	kL	
	自動車用エアコンディショナーの使用		0.03 t-CO2	0.03 t-CO2	0.03 t-CO2	0.03 t-CO2	2 台	2 台	
非エネルギー起源 計		19,855.50 t-CO2	22,805.53 t-CO2	19,602.33 t-CO2	19,390.70 t-CO2	—	—		
合計		22,446.51 t-CO2	25,017.10 t-CO2	21,529.26 t-CO2	21,175.43 t-CO2	—	—		

温室効果ガス排出量実績値及び目標値

粗大ごみ処理部門

		温室効果ガス排出量				(参考) 活動量			
		実績値		目標値		実績値			
		基準年度 2016 (H28) 年度	令和3年度 2021 (R3) 年度	2次計画年度 2027 (R9) 年度	目標年度 2030 (R12) 年度	基準年度 2016 (H28) 年度	令和3年度 2021 (R3) 年度		
エネルギー 起源	ガソリン		2.19 t-CO2	1.67 t-CO2	1.46 t-CO2	1.35 t-CO2	943.20 L	717.76 L	
	灯油		2.00 t-CO2	0.74 t-CO2	0.64 t-CO2	0.60 t-CO2	805 L	296 L	
	軽油		16.95 t-CO2	19.92 t-CO2	17.36 t-CO2	16.08 t-CO2	6,570.1 L	7,721.0 L	
	A重油		27.89 t-CO2	18.94 t-CO2	16.50 t-CO2	15.28 t-CO2	10,293 L	6,989 L	
	LPG		0.02 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	7.37 kg	4.78 kg	
	電気の使用		163.75 t-CO2	144.10 t-CO2	125.55 t-CO2	116.29 t-CO2	294,518 kWh	302,728 kWh	
	エネルギー起源 計		212.80 t-CO2	185.38 t-CO2	161.52 t-CO2	149.61 t-CO2	—	—	
非エネルギー 起源	家庭用機器にお ける燃料の使用	灯油	0.02 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	805 L	296 L	
		LPG	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	7.37 kg	4.78 kg	
	自動車の走行	ガソリン	HV乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			普通乗用車	0.05 t-CO2	0.05 t-CO2	0.05 t-CO2	0.05 t-CO2	5,878 km	6,157 km
		軽油	軽貨物車	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	1,737 km	1,641 km
			普通貨物車	0.00 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	1,116 km	1,576 km
	特種用途車		0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	163 km	120 km	
	一般廃棄物の焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	うち廃プラスチック焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	し尿の処理		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kL	kL	
	自動車用エアコンの使用		0.13 t-CO2	0.11 t-CO2	0.11 t-CO2	0.11 t-CO2	9 台	8 台	
非エネルギー起源 計		0.21 t-CO2	0.18 t-CO2	0.18 t-CO2	0.18 t-CO2	—	—		
合計		213.01 t-CO2	185.56 t-CO2	161.70 t-CO2	149.79 t-CO2	—	—		



温室効果ガス排出量実績値及び目標値

リサイクルセンター部門

		温室効果ガス排出量				(参考) 活動量			
		実績値		目標値		実績値			
		基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度	2 次計画年度 2027 (R9) 年度	目標年度 2030 (R12) 年度	基準年度 2016 (H28) 年度	令和 3 年度 2021 (R3) 年度		
エネルギー 起源	ガソリン		0.07 t-CO2	0.13 t-CO2	0.11 t-CO2	0.10 t-CO2	32.00 L	57.00 L	
	灯油		t-CO2	t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	L	L	
	軽油		10.18 t-CO2	8.97 t-CO2	7.82 t-CO2	7.24 t-CO2	3,944.3 L	3,477.0 L	
	A重油		t-CO2	t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	L	L	
	L P G		t-CO2	t-CO2	0.00 t-CO2	0.00 t-CO2	kg	kg	
	電気の使用		151.52 t-CO2	122.58 t-CO2	106.80 t-CO2	98.92 t-CO2	272,523 kWh	257,527 kWh	
	エネルギー起源 計		161.77 t-CO2	131.68 t-CO2	114.73 t-CO2	106.26 t-CO2	—	—	
非エネルギー 起源	家庭用機器にお ける燃料の使用	灯油	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	L	L	
		L P G	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kg	kg	
	自動車の走行	ガソリン	HV乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			普通乗用車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
			軽貨物車	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km
		軽油	普通貨物車	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	0.01 t-CO2	1,499 km	1,290 km
	特種用途車		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	km	km	
	一般廃棄物の焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	うち廃プラスチック焼却		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	t	t	
	し尿の処理		t-CO2	t-CO2	t-CO2	t-CO2	kL	kL	
	自動車用エアコンの使用		0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	0.04 t-CO2	3 台	3 台	
非エネルギー起源 計		0.05 t-CO2	0.05 t-CO2	0.05 t-CO2	0.05 t-CO2	—	—		
合計		161.82 t-CO2	131.73 t-CO2	114.78 t-CO2	106.31 t-CO2	—	—		